

# 山梨大学の挑戦！県内のPM2.5による健康被害をなくすための研究

- プロジェクト責任者: 平田修司(山梨大学総合研究部/産婦人科学講座・教授)
- 目標金額: 100万円
- 公開期間: 2018年12月4日(火)～2019年1月31日(木)23時まで
- プロジェクトURL: <https://readyfor.jp/projects/yamanashi-healthdamage>
- 検索ワード:【レディーフォー 山梨大学 PM2.5】



QRコード

大気中にはいろいろな「粒子状物質」が浮遊していますが、そのうち大きさが1mmの1/400以下の小さいものはPM2.5と呼ばれ、とても小さいために人体内に入っているいろいろな健康への影響を及ぼすと考えられています。しかしながら、図1に示すようにばい煙(汚染物質)などから生成されるものや黄砂等々、PM2.5には様々な物質があり、地域によってその構成が異なるので、健康影響も異なります。

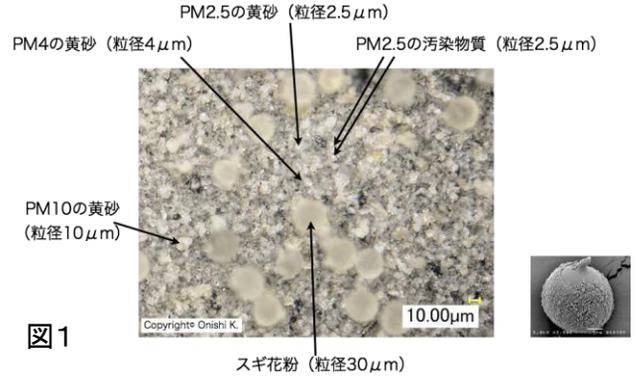


図1

山梨県では8年ほど前からPM2.5が測定されており、地域と季節によって変動しますが概ね5～20 $\mu$ g/m<sup>3</sup>と報告されています。この値のわが国の環境基準が15ですので、山梨県内でも環境基準を上回るPM2.5が浮遊しているときがあることとなります。



私たちは、山梨県におけるPM2.5がどのように健康に影響を与えるのかを検討する目的で、昨年中央市の山梨大学医学部キャンパスでPM2.5の収集を始めています(図2、PM2.5が付着したフィルターは黒色になっています)。そして、それが健康にどのように影響を与えるのかについて、細胞実験や動物実験を始めたところです。



図2

この研究の推進により、山梨県のPM2.5が健康に及ぼす影響が明らかになれば、それによる健康被害をなくすための方法を見つけることができると思います、研究を開始しています。

この研究にあたり、PM2.5の採取や、細胞ならびに動物実験には多くの費用がかかります。

皆様におかれましては、この研究の趣旨にご賛同いただきご支援・ご協力をお願いいたします。

- 種別: 寄附型(税制控除対象)
- 目標金額: 100万円
- リターン: 金額に応じ、成果発表への氏名記載  
報告会招待、研究室見学、懇談会
- スケジュール:  
公開期間: 2018年12月4日～2019年1月31日  
研究実施期間:  
2019年2月1日～2019年9月30日
- 問合せ先: 平田 修司(ひらた しゅうじ)  
電話番号: 055-273-9632  
E-mail: shirata@yamanashi.ac.jp

